

議案第2号

平成20年度鳥取県教育委員会表彰について

平成20年度鳥取県教育委員会表彰について、別紙のとおり提出します。

平成20年10月16日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

表彰式次第

- 一、開式
- 一、教育委員長あいさつ
教育委員長
- 一、表彰状の授与
教育長
- 一、来賓祝辞
鳥取県議会議長
- 一、被表彰者代表あいさつ
代表者
- 一、閉式

備考 式典終了後直ちに全員で記念撮影を行います。

平成二十年度 鳥取県教育委員会表彰者

児童・生徒 七名

一般個人功労者 十三名

教育功労団体等 十六団体

職員個人功労者 十五名

合計 三十五名

十六団体

児童・生徒（表彰規程第一条第四号該当者）

記念品

カップ

図書カード

中学校生徒

| | | | | | | | |
|---------------|----------------------|---------|---------|-------------|-------------|---|--|
| 鳥取市立 青谷中学校 | 鳥取市立 倉吉市立 東中学校 | 学年 三 | 学年 三 | 氏名 徳田 純也 | 氏名 近藤 拓郎 | 篤行概要 積極的に生徒会活動に取り組み、一、二年生時は執行委員として生徒会を運営し、現在は生徒会長として優れたリーダーシップを発揮している。特に朝のあいさつ活動や、生徒会目標である「青中六か条」に基づいた運動を計画立案するなど、生徒会活動の活性化に努めている。また、応援団長として学校の部活動を盛り上げ、陸上部部長としても部員をまとめるなど、他の生徒の模範である。 | 篤行概要 二年生三学期から生徒会長として執行部を意欲的に引つ張り、生徒会活動の中心的存在として、また、応援団の一員として積極的に活動している。部活動においては野球部に所属し、平成十九年度鳥取県中学校軟式野球大会優勝、平成十九年度中国中学校軟式野球大会三位の大きな原動力となり、本年度はキャプテンとして部をよくまとめた。学習面においても、常に意欲的に授業に取り組み、他の生徒の模範である。 |
|---------------|----------------------|---------|---------|-------------|-------------|---|--|

県立学校生徒

| | | | | | |
|----------------------|---------------|---------|---------|--------------|--|
| 鳥取県立 鳥取工業 高等学校 | 工業学科 都市環境科 | 学年 三 | 学年 三 | 氏名 武庫山 大輝 | 篤行概要 社会の一員であることを意識し、全ての活動において社会に貢献しようという姿勢が見られる。特に、一年生後期から生徒会執行部に所属し、二年生後期、三年生前期と、二期連続生徒会長を務めるなどリーダーシップを発揮し、学校の活性化に貢献している。また、昨年の県議会主催「夏休み高校生議会」では、鳥取県代表として、自身が行っている観光ボランティア活動に基づいた鳥取県活性化のための意見陳述を行うなど、自分のできることから考えた、積極的に行動する姿は他の生徒の模範である。 |
|----------------------|---------------|---------|---------|--------------|--|

一般個人功勞者（表彰規程第一條第三號該當者）

記念品
花
瓶

| 職名 | 氏名 | 住所 | 功績概要 |
|-----------------------------------|----------------------|-----|--|
| 元鳥取市体育協会副会長 鳥取市スポーツ振興 審議会会長 | 奥田 益夫 おくだ ますお | 鳥取市 | 平成三年から平成二十年までの永きにわたり、鳥取市体育協会副会長を務め、鳥取市のスポーツ振興に尽力した。鳥取市体育協会副会長として、永年の行政経験に基づき、鳥取市の体育行政に貴重な提言を行うなど、審議会運営に多大な貢献をしている。 |
| 日本ボーイスカウト 鳥取連盟理事 | 笥 弘 かげひ ひろし | 鳥取市 | 昭和二十四年にボーイスカウト鳥取連盟が発足すると同時に加盟登録者として、その後現在に至る五十九年間、積極的にスカウト並びに指導者として本県ボーイスカウト活動の推進を図った。また、四年に一回開催される日本ジャヤンポリーに県連盟の責任者として現在までに八回参加するなど、関係者の信頼も厚く、昭和五十六年四月からはボーイスカウト鳥取連盟の理事として、鳥取連盟の発展と充実に尽力しており、その功績は大変顕著である。 |
| とっとり県民カレッジ 学友会会長 | 井本 幸太郎 いのもと こうたろう | 鳥取市 | とつとりに県民カレッジで学ぶ受講生の有志が学んだ成果を活かし、社会に貢献することを目的に平成十六年度に設立されたとつとりに、県民カレッジ学友会において、その設立段階から主体的に関わり、設立後は会長として創成期を支えた。毎年約二百人の会員に対し、自主講座の開催や会報の発行を行い、平成十九年度には県内外の研修でコースターを実行するなど、その魅力ある学習活動は大変好評を得ている。また、自らは知識と経験を活かして講演会の講師を数多く務め、とつとりに県民カレッジ本部が認定する「とつとりマスター」第一号となるなど、他の受講生の模範である。 |
| 鳥取県スケート連盟会長 | 岩本 章嗣 いわもと あきつぐ | 鳥取市 | 永年にわたり鳥取市及び鳥取県スケート連盟の要職を務め、スケート競技人口の拡大と組織の発展、選手指導に尽力し、スケート競技の普及発展に貢献した。また、冬季国体では永年、団長や副団長を務め、平成十六年の冬季国体では、フィギュアスケートの個人及び団体種目で優秀な成績を修める選手を輩出するなど指導力を発揮している。県内にスケートリンクが無くなつてからは、隣県に選手を連れて練習リンク場の建設を目的とし、献身的に努力するなどに、鳥取市内の新たなスケートリンク場の建設を目的とし、献身的に努力するなどに、その功績は顕著である。 |

| 職名 | 氏名 | 住所 | 功績概要 |
|--------------------------------------|--------|-------------|---|
| 倉吉市スポーツ少年団 副本部長 | 岩田 功 | 倉吉市 | 昭和六十一年からスポーツ少年団の指導者として野球を中心に指導するのと同時に、団の運営、母集団との連携等、倉吉市スポーツ少年団の中心的存在として団の発展に尽力してきた。また、永年にわたり、倉吉市、中部地区及び鳥取県のスポーツ少年団の役員を歴任し、スポーツ少年団活動の推進に貢献しており、現在も指導者として青少年の健全育成に貢献するなど、他の指導者の模範である。 |
| 元鳥取県立博物館 協議会委員 | 岩室 久美子 | 東伯郡 湯梨浜町 | 平成十二年四月から平成二十年三月までの八年間にわたり、県立博物館の運営に関して諮問に応じたり意見を述べる、鳥取県立博物館協議会の委員として活躍した。特に、運営部長として、博物館事業の県民へのPR、博物館の魅力向上、来館者サービスの向上等に向けて積極的に指導助言を行うなど博物館事業の充実と県民の生涯学習の推進に多大な貢献をした。 |
| 三朝町社会教育委員長 三朝町人権・同和教育 推進協議会副会長 | 横木 永子 | 東伯郡 三朝町 | 平成六年度から三朝町社会同和教育推進員、平成九年度からは三朝町人権・同和教育推進協議会副会長として現在まで熱心に活動している。また、平成九年度から三朝町社会教育委員として副委員長・委員長を歴任し、各種答申、町教育の中期計画「三朝町教育ビジョン」の策定等に関わり、社会教育の推進に大きく貢献している。 |
| 元鳥取県子ども会育成 連絡協議会専門委員 | 西山 純子 | 米子市 | 鳥取県子ども会育成連絡協議会専門委員として、県ジュニアリーダー研修会、中国・四国地区ジュニアリーダー大会、全国子ども会連合会中央大会、実技指導者研修会等に参加し、習得した実技技術の伝承に努め、活動を支えてきた。昭和五十七年に、単位子ども会会長となつて以降、単位・地区・市・県と、誠心誠意子ども会活動に力を注いできた功績は顕著であり、特に、米子市ジュニアリーダーズクラブの立ち上げに尽力した。永きにわたるその活動姿勢は、他の子ども会育成者、指導者の模範である。 |
| 学校医 | 岡空 謙之輔 | 米子市 | 昭和四十二年四月からの永きにわたり、幼児・児童・生徒の健康診断と予防接種並びに保健指導にあたり、疾病の予防と幼稚園・学校の保健衛生の推進向上に貢献している。また、鳥取県学校保健会評議員、鳥取県医師会役員（学校保健担当）等として県内における学校保健活動推進の機運を盛り上げ、学校保健活動を含めた地域保健活動に尽力した。 |

| 職名 | 氏名 | 住所 | 功績概要 |
|---|--------------------|-------------|---|
| 鳥取県文化財保護 指導委員 | 門脇 豊文 かどわき とよふみ | 境港市 | 昭和六十一年から今日までの二十年以上にわたって、鳥取県文化財保護指導委員として、境港市域の文化財の巡視を行い文化財の保護活動に務めるとともに、平成三年からは境港市文化財保護審議会委員として精勤した。また、長瀬高浜遺跡や妻木晩田遺跡などの重要遺跡をはじめ、県内各所で埋蔵文化財の発掘調査に調査員として従事するなど、本県の文化財保護行政に果たした功績は極めて顕著である。 |
| 画家 | 前田 直衛 まえだ なおえ | 京都市 | 本県出身の日本画家であり、永年にわたり京都を中心とする古民家などを緻密に描き、高い評価を得ており、素晴らしい画業を残している。自作の日本画作品十七点と下絵資料十七点の計三十四点を三度にわたって鳥取県立博物館に寄贈し、博物館コレクションの充実に寄与し、本県社会教育の振興に多大な貢献をした。 |
| 元国立療養所 長島愛生園入所者 自治会長 元国立療養所 長島愛生園 県人会長 | 加賀田 一 かがた はじめ | 岡山県 瀬戸内市 | 八幡病の正しい理解のための普及啓発活動や交流活動に永年取り組んでおり、特に昭和三十一年の八幡病患者の里帰り運動に尽力し、鳥取県への里帰りを他県に先駆けて実現させたほか、平成十三年度、開始した「鳥取県八幡病学習会」の企画・運営に当初から関わり、県内の学校で講演活動を行った。この企画・運営に当初から自身の経験を基に「人としてみんなの教育の推進に多大な貢献をしている」と語りかけ、本県学校教育及び社会教育の推進に多大な貢献をしている。 |
| 元国立療養所 長島愛生園入所者 自治会長 | 石田 雅男 いしだ まさお | 岡山県 瀬戸内市 | 八幡病の正しい理解のための普及啓発活動や交流活動に永年取り組んでおり、特に平成十三年度、開始した「鳥取県八幡病学習会」の企画・運営に当初から関わり、県内の学校で講演活動を行った。また、大山西小学校児童との交流を描いた映画「ハンセン病を生きる」が平成十七年に製作され、学校教育のみならず、社会教育における人権教育の教材として活用されるなど、本県学校教育及び社会教育の推進に多大な貢献をしている。 |

教育功勞團體等（表彰規程第一條第二號該當團體）

記念品
花
瓶

| 社会 教育 団体 | 社会 教育 団体 | 社会 体育 団体 | 文化 団体 | 団体名 |
|---|----------------|---|----------------|-------|
| 特定非営利活動法人 鳥取青少年ピアサポート | 地域の楽校づくり の会 | 三洋電機鳥取野球部 (三洋電機コンピュータ エレクトロニクス株式会社) | 酒津とんど祭り 保存会 | 代表者氏名 |
| 代表理事 山本 恵子 | 会長 宮内 武幸 | 部長 松田 金幸 | 会長 西尾 雅彦 | 所在地 |
| 鳥取市 | 鳥取市 | 鳥取市 | 鳥取市 | 功績概要 |
| <p>「酒津のトンドウ」は毎年一月月上旬に行われる小正月の火祭り、大火を焚いて一年の無事を祈願する行事である。山陰地方沿岸部に伝わる特色ある小正月の行事として注目され、我が国の年中行事や民間信仰の変遷を考へる上で重要なことから、平成三年に「無形民俗文化財」に指定され、平成十九年に国重要無形民俗文化財に指定されている。</p> <p>保存会は、平成三年から現在に至るまで、その保存・伝承に努め、昭和五十一年の創部以来、鳥取県の軟式野球競技推進を図るため、率先して模範的行動をとるとともに、野球を通して子どもたちの健全育成並びに地域交流を図っている。</p> <p>さらには、天皇賜杯全日本軟式野球全国大会及び国民体育大会において、優勝三回、準優勝二回、入賞九回を誇るなど他の競技団体の模範となる活躍をしている。</p> <p>また、シーズンオフには小中学校の児童・生徒を対象に少年野球教室を開催し、野球の技術のみならず教育的指導を行い青少年の健全育成にも貢献している。</p> <p>平成十三年度の学校週五日制開始に伴い、土曜日は地域で子どもたちを育てようという取り組みで、男性の参加者も多く、今日まで地域の方々の熱い想いにより活動を行っている。</p> <p>昨年は、笹まきつくりと昔の遊び体験、魚とりと川遊び、料理教室とドッジボール、もちつきと落語等、伝統文化や食に関する習慣を学ぶ活動を通して地域と児童が交流する機会を持つなど、児童の体験活動及び文化活動の推進に多大な貢献をしている。</p> <p>平成十六年の発足以来、障害者と地域の人が自然に関わりを持ち、障害者を支えていくことが出来るような地域づくりをめざし、障害者に対する相談活動や職場の提供を行ってきた。</p> <p>特に、引きこもり者の社会参加をめざした支援として、パン・菓子製造販売施設における引きこもり生協の就労支援や、パン・菓子製造販売訓練事業を始め、問題を抱えた人々の生活支援を行っている。</p> <p>また、特別支援学校卒業生の就労を積極的に行っている。</p> <p>福祉的就労の間を埋めるような役割を担っており、多くの障害者が生き生きと働く姿が見られる。</p> <p>このように、誰もが当たり前に暮らすことのできる地域の実現のため、このように、誰もが当たり前に暮らすことのできる地域の実現のため、鳥取市</p> | | | | |

| 団文化 | 団体社会 | 団文化 | 団教育 | 社会 |
|---|---|--|--|-------|
| 鳥取県写真家連盟 | 鳥取県 自転車競技連盟 | 虫井神社花籠祭り 保存会 | いわみガイドクラブ | 団体名 |
| 会長 沖正 | 会長 上村忠史 | 会長 寺谷誠一郎 | 代表 中島己之助 | 代表者氏名 |
| 米子市 | 倉吉市 | 八頭郡 智頭町 | 岩美郡 岩美町 | 所在地 |
| <p>平成八年の設立以来、写真の創造的発展とその普及に努めており、毎年、加盟団体が出品する合同写真展を開催し、会員の相互交流と発表の場を提供するとともに、県外講師を招き、写真教室を開催するなど、会員の資質向上に努めている。鳥取県・韓国江原道写真交流事業を国際交流に多大な貢献をしている。</p> | <p>県内の自転車競技人口が少なく、毎年、国民体育大会等の全国大会で優勝又は入賞する選手を輩出している。特に、第六十一回兵庫国体で成年男子がチームスプリント優勝、森本朱美選手（シドニーオリンピック）、和田見里美選手（北京オリンピック）と二名のオリンピック選手を輩出するなど、大きな実績をあげている。また、自転車競技部のない学校の一丸となり選手強化に取り組む姿勢は、他の競技団体の模範である。</p> | <p>「花籠祭り」は、八頭郡内で行われる氏神に花籠を奉納する秋祭り「花籠祭り」の中でもとりわけ祭りの古い形態を保存していることから、平成二年に県無形民俗文化財に指定された。保存・伝承に努め、地域文化の振興に多大な貢献をしている。</p> | <p>近年、山陰海岸学習館が力を入れている「磯の観察会」などの体験学習活動において、海の子の生きものの解説等のボランティアとして積極的に協力している。また、これらの教育普及事業に加え、海洋生物の展示事業にも多面的に協力し、山陰海岸学習館の円滑な事業実施と来館者満足度の向上に多大な貢献をしている。</p> | 功績概要 |

| 団体 | 企業 | 社会教育団体 | 学校 | |
|---|---|---|--|---|
| 文化 馬佐良申し上げ祭 保存会 | 株式会社 すし弁慶 | 米子子ども会 連合会 | 鳥取県立 米子南高等学校 | 団体名 |
| 会長 大江 薫 | 代表取締役社長 渡部 光典 | 会長 湯浅 厚子 | 校長 友松 文嗣 | 代表者氏名 |
| 西伯郡 南部町 | 米子市 | 米子市 | 米子市 | 所在地 |
| 文化の振興に多大な貢献をしている。保存会は、平成二年から現在に至るまで、保存・伝承に努め、地域 | 発者・雇用の促進に尽力して、その功績は大である。の雇用を積極的に進め、特別支援学校生徒の現場実習の受け入れ、卒業生 | どもこの指導者の活性化に尽力して、その功績は大である。に努める。このよう活動や養成のため、その功績は大である。に努める。このよう活動や養成のため、その功績は大である。に努める。このよう活動や養成のため、その功績は大である。 | 与えられた影響は大きい。このように環境先進校として先導的な役割を果たし、他校・地域へ | 功績概要 平成十五年三月に環境宣言を行って以後、県内高等学校初の鳥取県版環境管理システム（TEAS）の認定を取得するなど、環境にやさしい学校として環境啓発に大きく貢献している。平成十六年六月には鳥取県で開かれたエコアジア2004（アジア・太平洋環境会議）のイベント「環境教育シンポジウム」としてTEASの取組を発表し、その活動を全国に発信した。平成十八年度からは米子市環境フェアに毎年参加し、子どもたちを対象とした環境学習等を実施するとともに、オリジナルマイバツグの学園祭での販売や地域への寄贈などマイバツグ運動を推進するなど様々な取組を展開している。 |

職員個人功勞者（表彰規程第一條第一號該當者）

記念品
花
瓶

中学校教職員

| 所属箇所 | 職名 | 氏名 | 功績概要 |
|---------------|----|-------|--|
| 鳥取市立 南中学校 | 校長 | 小山 敏夫 | <p>約三十五年間の永きにわたる、生徒一人ひとりの実態に力を入れた。細かな指導をねばり強く続けるなど、国語科教育の推進に尽力した。中学校及び鳥取市立南中学校の校長を歴任し、中央中学校、鳥取市立西小学校及び鳥取市立南中学校の連絡調整を密にして、地域に根ざした学級経営の推進を図り、西中学校及び南中学校では、温厚で誠実な人柄により、地域が連携した教育の推進に力を発揮した。</p> |
| 境港市立 第三中学校 | 校長 | 足立 忠志 | <p>昭和五十二年度、倉吉農業高等学校教諭として着任して以来、教育に對する熱意と誠実な人柄で、本県の学校教育の充実・発展のために多大な貢献をした。</p> <p>境港市立第二中学校及び第三中学校の校長を歴任し、両校において自主授業研究会を毎年二回開催するなど、全職員にプロとしての専門性を磨くことに重点を置いて取り組む推進した。</p> <p>また、管理職としてリーダーシップを発揮し、卓越した力量と高い見識を持ち、教職員はもとより、保護者や地域からの厚い信頼を得るなど、多大な功績をあげている。</p> |
| 鳥取大学 附属中学校 | 教諭 | 濱崎 修 | <p>「永年、「学びを創り楽しむ理科の授業の実現」を目標に教壇に立ち、多くの生徒たちに理科の楽しさ、素晴らしさを教えてきた。</p> <p>平成七年に鳥取市の理科教員有志とともに、内川英雄元鳥取大学教授を座長とする研究団体「木曜会」を設立し、お互いの情報交換をするなど、高校・大学の先生と「科学遊び広場」のイベントに参加する機会を創出した。</p> <p>教室を開催した。その中心的存在として各地の公民館や小中学校で科学実験のイベントの立ち上げに尽力するなど、県内の科学振興及び科学教育の推進に多大な貢献をした。</p> |
| 倉吉市立 河北中学校 | 教諭 | 福木 善夫 | <p>卓越した指導力と情熱を持って陸上競技の指導にあたり、勤務校の駅伝部を常に鳥取県上位の成績に導いている。特に、昨年度は河北中学校男子駅伝部を念願の県大会優勝に導くとともに、全国大会出場を果たした。</p> <p>この指導力は専門である数学の指導にも活かされ、確かな学力を身につけさせる授業には定評がある。</p> <p>信頼を得ており、他の模範である。保護者・教職員・地域の厚い信頼を得ており、他の模範である。</p> |

県立学校教職員

| 所属箇所 | 職名 | 氏名 | |
|------------------|----|-------|--|
| 鳥取県立 倉吉農業高等学校 | 教諭 | 田中 正士 | |
| 鳥取県立 鳥取緑風高等学校 | 教諭 | 西川 厚 | |
| 鳥取県立 皆生養護学校 | 教頭 | 小谷 幸久 | |
| 鳥取県立 日野高等学校 | 校長 | 杉山 潔 | <p>功績概要</p> <p>米子東高等学校教諭として着任以来三十一年余にわたり、教育に對する真摯な姿勢と優れた指導力を發揮し、本県の学校教育の充実・発展のために多大な貢献をした。</p> <p>米子高等学校及び日野高等学校の校長を歴任したが、米子高等学校では、海外交流事業等の充実・発展に尽力し、国際理解教育を中心とした学校の特色づくりの特性を活かし、地域との交流活動を推進するなど、地域に密着した教育活動の充実に取り組んだ。</p> <p>平成二十年度には中国地区総合学科高等学校長協会の会長として、本校の中国地区教育研究大会開催に向けて尽力するとともに、県高等学校協会の副会長として、本県高等学校教育の充実・振興とその発展に貢献している。</p> <p>永年にわたり県立高等学校の音楽教師として、高い専門知識と技能を活かし、活動指導を通して生徒の情操教育に成果を發揮するとともに、部活動指導では、吹奏楽部を中心に指導し、各種コンクールにおいて輝かしい成果をあげるなど、県音楽教育の中心的存在として活躍した。</p> <p>また、皆生養護学校転任後は、障害のある幼児・児童・生徒に對する音楽を通じた指導に情熱をもつてあたるなど、高等学校から特別支援学校まで、音楽という専門性を活かし、人間形成に最も重要な情操教育に多大な功績をおさめた。</p> <p>永年にわたり、農業科の教員として教科指導に力を注いでおり、豊富な専門知識に裏付けられた指導力を充分に發揮し、本県の農業教育の充実に多大な貢献をしてきた。</p> <p>また、平成十六年四月に定時制・通信制独立校として鳥取緑風高等学校が開校すると同時に配属になり、通信制独立校として鳥取緑風高等学校の発展に、多様な生徒に對する教科指導と生徒指導に熱心に取り組む、個々の生徒の学力保障に對して尽力するなどの模範である。</p> <p>人格高潔で誠実であり、高いモラルと深い分析力を有し、情熱をもつて日々の教育実践に取り組んでいる。特に、舎監長として寮経営にあたる中で、寮教育が農業経営者育成高校における教育の根幹をなすという揺るぎない信念をもつて指導し、生徒、保護者との信頼関係を築いている。学校の将来構想となる「倉吉農業高校のかたち」策定において、中心的役割を果たし、学校経営の充実に寄与するなど、他の模範である。</p> |

| 所属箇所 | 鳥取県立 境高等学校 | 鳥取県立 倉吉東高等学校 | 鳥取県立 皆生養護学校 |
|------|---|--|--|
| 職名 | 教諭 | 養護教諭 | 教諭 |
| 氏名 | 田中 宏明 たなか ひろあき | 足達 愛子 あだち あいこ | 松井 志織 まつい しおり |
| 功績概要 | <p>永年、学級担任、学年主任、部活動指導者を務め、学校教育の中心的存在として、その充実、発展に尽力している。特に、学年主任として優れたリーダーシップを発揮し、進学実績の向上を図るとともに、部活動指導において優れた指導力をもって好成績に導き、学校目標の達成に寄与した。</p> <p>また、鳥取県高等学校体育連盟及び中国高等学校体育連盟においてハンドボール専門部長などを務め、県内外の部活動振興に尽力している。</p> | <p>永年にわたり学校保健の充実・推進に努め、特に近年は中部地区高等学校養護教諭の中心的存在として尽力している。</p> <p>勤務の心には健康相談活動に重点をおき、専門機関との連携を密に、生徒の心に寄り添う活動を行っているほか、性教育においても中心的な役割を果たしている。また、校外でも中部福祉保健局主催の「若者サポートチーム」の委員として活動している。</p> | <p>特別支援教育に尽力し、皆生養護学校では、幼児から高等部生徒まで幅広い年齢層の子どもたちの教育に携わり、一貫して重複障害の指導にも努めている。</p> <p>成果を発揮するとともに、専門性を高めるため自己研鑽にも努めている。</p> <p>保育相談部長として、他校内外の就学指導等に関する幼児・児童・生徒・教育者への支援、他の教員の指導・援助を行い周囲の信頼を得ている。</p> <p>ほか、米子市就学指導委員会委員として就学支援にも尽力している。</p> |